

競技者注意事項

令和7年6月7(土)

- 1 規則 2025年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会注意事項等による。
- 2 変更 競技者の変更(リレーを除く)は認めない。
- 3 練習 補助競技場(9時以降可能)で行う。(投てき練習は禁止)
競技場周辺での練習は禁止します。
- 4 招集
 - ・招集場所は100mスタート付近のスタンド下に設ける。
 - ・競技者は、招集時刻の間に**競技者係で招集**を済ませる。
 - ・**招集時刻に遅れた競技者は棄権とみなされ、当該競技に参加できない。**
 - ・招集を済ませた後、競技開始時刻の10分前までにスタート地点に集合し、最終点呼を受ける。
- 5 アスリートビブス(ナンバーカード)・安全ピンは、主催者で準備する。**競技終了後返却すること。**
 - ・ユニホームの胸と背に1枚ずつ安全ピンで付ける。
 - ・走高跳は、1枚を胸または背に付けるだけでもよい。
 - ・**競技終了後、ナンバーカード2枚・安全ピンを大会本部に返却する。**(学校等団体は、**まとめて返却**)
- 6 腰ナンバー・安全ピンは、主催者で準備する。**フィニッシュ後は、その場の競技役員に返却する。**
 - ・競技者は、**招集所で腰ナンバー**を受け取り、**右腰のやや後方**に安全ピンで付ける。
 - ・**リレー競技(4×100m)**では、**アンカーのみ右腰**に腰ナンバーを付ける。
 - ・フィニッシュ後、**直ちに腰ナンバーを取外し、安全ピンと共にフィニッシュ地点の競技役員に返却する。**
- 7 トラック競技
 - ・トラック種目の判定は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ・トラック競技の組、走路順はプログラムの記載順とする。
 - ・800m以上の競技は**オープンスタート**とする。
 - ・スタート時の不適切行為に関しては、**1回目の不正スタートで失格**とする。
- 8 リレー競技
 - ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し**競技開始1時間前**までに招集所に提出する。(オーダー用紙は**招集所で配布**します。)
 - ・各競技者はスタート**10分前**までに自分のスタート地点に集合し、最終点呼を受ける。
 - ・1人1か所に限りマーカーを使用することができる。
- 9 走高跳
 - ・バーは次の高さから行います。また、バーの上げ方は審判員の指示によるものとする。
 - ・中学1年女子は1m、中学女子共通は1m10cm、中学1年男子は1m10cm、
中学男子共通は1m20cmから競技を開始する。
- 10 砲丸投
 - ・一般男子(高校生含む)は**6kg**、 中学男子共通は**5kg**、中学男子1年生は 2.721 kg、
中学女子(共通・1年生)は、2.721 kgです。

11 試技数

- ・ 跳躍、投擲の試技数は、**3回**とする。

12 表彰

- ・ 種目ごとに1位から**3位**まで表彰する。

13 施設管理

- ① トラック中央の「芝」には、立ち入らない。(本競技場・補助競技場)
- ② メインスタンドでの横断幕等の張り出しは禁止する。
- ③ 通路等の共用スペースを占有しない。
- ④ **補助競技場での投てき練習は禁止です。**
- ⑤ チューブ、メディシンボール等を使用しての練習は安全面から行はない。
- ⑥ 競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mm、フィールドは約18mmです(ピンの長さは9mm以下、ただし走高跳は12mm以下とする。)

14 安全確認

- ① 本競技場、補助競技場での練習は、決められたレーンを守り、常に安全確認を怠らない。
本競技場(1, 2, 3レーンは周回練習、4, 5, 6, レーンは流し等、7,8レーンはハードルで使用する予定です。)
補助競技場(1, 2レーンは周回練習、3, 4, レーンは流し等、5, 6,レーンは直線ダッシュで使用する予定です。)
- ② **常に周囲の安全を確認**して行動する。また、審判員、顧問等の指示に従い**事故防止**に努める。
- ③ トラック・フィールドを**横断**する際には、**周囲の安全確認**を行ってから行動する。
- ④ ウォーミングアップの際、**事故防止**のために必要な**声の掛け合い**を行う。
- ⑥ **投てき物の回収**の際には、**周囲の安全**に十分配慮して行動する。

15 その他

- ① プログラムの誤字等の訂正は、**本部**に速やかに申し出る。
- ② フィールド競技において、トラックと競技時間が重なる場合は、**競技役員に申し出て、トラック競技を優先**する。
- ③ 主催者は応急手当を除き一切責任を負いません。各自けがのないように十分注意する。
- ④ **保険**は主催者でも加入しますが、スポーツ傷害保険の範囲内での補償となる。
- ⑤ 大会の写真、記事、記録等において、氏名、年齢、性別、記録、肖像等の個人情報が新聞、区ホームページ、パンフレット等に報道・掲載・利用されることがある。
- ⑥ 貴重品は、各自が責任をもって保管し、盗難、紛失には十分注意する。
- ⑦ 屋食等の後始末は各自が責任を持って行い、ゴミは必ず各自が持ち帰る。